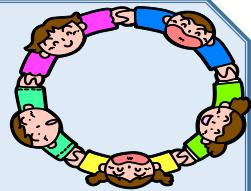


みんなそろって 輪になって

◇本年度の重点目標 ～笑顔いっぱい～
できた！わかった！がんばった！自信がついた！



第10号 令和8年1月22日

3学期スタート！～「笑顔いっぱい」で 「できた」と思える毎日を～

校長 石山 輝



20日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。今年の冬は少雪傾向かと思いきや、1月も半ばを過ぎると徐々に積雪も多くなり、厳しい寒さの毎日となってまいりました。

さて、令和8年がスタートしました。今年の干支は「午（うま）年」です。また、60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年でもあります。前回の「丙午」である1966年は、江戸時代から伝わる迷信の影響で出生率が前年よりも約25%も下がったそうですが、ただでさえ少子化が進む現代では、そのようなことがないことを願うばかりです。子どもたちには、始業式の中で、「午年」と「丙午」に関わるポジティブな面を捉えて紹介しました。

今年の干支は「午（うま）年」です。「うま年」は、動物の馬の意味もありますが、元々の漢字は「午前」とか「午後」の「午」という漢字です。その「午」という漢字には、「突き当たる」という意味があるそうで、草や木などの植物がぐんぐん伸びて、一番力強い状態になることを表しているそうです。

さらに今年は、60年に1度の「丙午（ひのえうま）」という特別な年です。「丙午」と言うと、昔は、あまりよくない意味で使われていたのですが、実は、「太陽のような、とても強いエネルギーにあふれる年」という意味があるそうです。

また、動物の「馬」は、生まれたらすぐに自分の足で立ち上がり、前を向いて、力強く走り出します。その姿は、自分の力で新しいことに挑戦しようとする皆さん姿に似ています。



そのようなことを踏まえて、今年1年、太陽のような明るい笑顔を忘れずに、自分の目標に向かって力強く駆け抜ける、そんな1年にしていきましょう。皆さんの活躍を、先生たちは全力で応援していきます。

3学期はあっという間です。6年生は卒業に向けた取組も多くなってきます。その他の学年も1年間のまとめとして、それぞれがやるべきことにしっかりと取り組み、3学期もまた、「笑顔いっぱい」で、色々なことが「できた」と思えるような毎日にしていきましょう。

始業式の翌日から、スキー学習も始まりました。例年通り、多くの保護者の方々に支援をいただいております。ありがとうございます。また、毎年子どもたちが楽しみにしているグラウンドでのバナナボート体験も、来週以降行われます。

3学期も多くの保護者の皆様のご支援をいただきながら、教育活動を進めていけることに改めて感謝申し上げます。

年度末学校評価結果 その1

2学期末に実施しましたアンケートにご協力いただきありがとうございました。結果の概要をお知らせします。

【評価】 肯定的評価(4+3)の合計

A 目標+1%～ B 目標-19%～目標 C 目標-39%～目標-20% D ～目標-40%

子ども像 重 点	①求める子 どもの姿	目標	学年末評価						②重点目標達成のための具体的方策	教職員 達成率 評価		
			子ども		教職員		保護者					
			達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価				
やさしい子 (徳)	1 相手の気持ちを考える	94	96	A	85	B	84	B	斜線	95 A		
	2 明るい挨拶	88	89	A	90	A	75	B	100	A		
	3 友だちと仲良くしている	97	96	B	95	B	94	B	94	B		
粘り強く学ぶ子 (知)	4 勉強がよくわかる	87	85	B	90	B	79	B	斜線	100 A		
	5 学習する習慣	82	83	A	78	B	62	C	斜線	100 A		
	6 学習や活動に臨む姿勢	77	88	A	68	B	51	C	斜線	100 A		
	7 粘り強さ	86	92	A	100	A	73	B	93	A		
	8 体験活動(体と心で感じ、学んでいく活動)	92	斜線	95	A	87	B	87	B	斜线	95 A	
進んで体を鍛える子 (体)	9 遊びや運動の習慣化	88	87	B	100	A	78	B	100	A		
	10 規則正しい生活	81	84	A	95	A	60	C	100	A		
	11 健康への意識	90	96	A	95	A	78	B	斜线	100 A		
	12 安全への意識	97	98	A	92	B	94	B	100	A		
②重点目標達成のための具体的方策												
1 組織マネジメント 学校運営や教育活動の改善に向けて、各分掌等がチームとして協働して取り組んでいる。												
2 カリキュラム・マネジメント カリキュラム・マネジメントの視点に基づき、教科横断的な内容の組み立て、評価と改善、地域の人的・物的な教育資源の活用ができた。												
3 学年・学級経営 子ども一人一人の変容や努力の過程を認め、励まし、自尊感情を高める働きかけを充実させた。												
4 課題解決型研修 ICT環境を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」を推進することができた。												
5 経営の基本 思考力・判断力・表現力を育成する授業を心掛けた。												
6 教育環境整備 子どもの机上やロッカー、靴箱など学習環境の整理整頓のため統一した指導を充実させた。												
7 危機管理 災害時の様々な場面を想定し、十分な備えができた。												
8 学校事務 円滑な学校運営に向けた日常的な課題や要望の把握に努めた。												
9 業務改善 業務改善や時間外勤務の縮減を推進することができた。												
10 幼小・小小連携 小中一貫 小中一貫教育推進委員会の各部会を中心として、各校の情報共有が図られている。												
11 指導の基本 國際理解教育 外国語専科と共に学習過程、評価について学び、学習指導への理解を深めることができた。												
12 情報教育 タブレット端末を積極的に活用し、児童の情報活用能力の向上に努めた。												
13 総合的な学習の時間 学年や単元のつながりを意識した指導を行うことができた。												
14 特別支援教育 校内外及び関係機関等との連携により、児童の困難さに応じた支援に努めることができた。												
15 道徳教育 自分や友達のよさを実感できる場の設定と行動を行っている。												

学校経営方針に対する教職員の
取組自己評価

2月の行事予定

- 2日(月) 全校集会 下校指導(民生委員)
- 3日(火) 下校指導(民生委員)
- 4日(水) 新1年一日入学・説明会
PTA総務部会
- 5日(木) スキー(2年)
- 6日(金) 委員会
- 9日(月) B日課 フッ化物洗口
- 10日(火) スキー(1年)

- 12日(木) 園児授業体験・交流
- 13日(金) たてわり班活動
中学校入学説明会
- 18日(水) 参観日(5・6年)
- 20日(金) 義経会役員選挙 フッ化物洗口
- 25日(水) 参観日(1・2年) 代表委員会
- 26日(木) 学校運営協議会
- 27日(金) 参観日(3・4年)

年度末学校評価結果 その2

全国学力・学習状況調査の質問紙と同内容で、全校児童が自分自身を振り返った結果（R7町教育行政執行方針を受けて）

③町教育行政執行の柱に関する内容

順位	項目	内容	子ども	
			達成率	評価
1	生きがい	自分にはよいところがある	88	A
2		先生は、あなたのよいところを認めてくれている	92	A
3		将来の夢や目標をもっている	90	A
4		地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	73	B
5	学びがい	学校に行くのは楽しいと思う	87	A
6		自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	85	A
7		学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	86	A
8		外国語の勉強がわかる	78	B

上川教育局等による各種調査に関わる内容

④児童特設			達成率	評価
1	主体性	課題の解決に向けて自分から取り組んでいる	90	A
2		授業で工夫して発表している	81	A
3	指導工夫	算数の勉強がよくわかる	92	A

学校や家庭での取組に対する教職員と保護者による評価

⑤保護者・教職員特設		教職員	保護者
達成率	評価		
100	A	92	A
100	A	95	A
100	A	96	A
		81	A
100	A		

教育活動のDX化
いじめ防止
地域との連携
メディアとのつきあい方
小中連携

学校は、ICTを積極的に活用し教育方針や教育活動の様子を迅速に伝えたり、児童のICT活用能力を高めたりしている
学校は、「いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題の早期発見、解決に努めている
学校は、PTAや学校運営協議会と協働し、地域の教育資源を活用して教育活動を推進している
ご家庭では、メディアを使用する場合約束を決め、守らせている
学校は、小中一貫教育事業の計画に基づいた推進により、中学校への円滑な接続が図られている

どの項目も概ね良好で、特に次の項目が高評価でした。

①「求める子どもの姿」から

- 「2 明るい挨拶」（徳）「7 粘り強さ」（知）「11 健康への意識」（体）
- 「3 友だちと仲良くしている」（徳）、学年末は「12 安全への意識」（体）

※1学期から引き続き全ての評価で達成率90%超え

- 「1 相手の気持ちを考える」「4 勉強がよくわかる」「7 粘り強さ」「10 規則正しい生活」
- ※1学期よりも教職員の評価で大幅に向上

③「町教育行政執行の柱に関する内容」（生きがい、学びがい）

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標をもっている」

④「児童特設」

- 「課題の解決に向けて自分から取り組んでいる」「算数の勉強がよくわかる」

⑤「保護者・教職員特設」

- 「教育活動のDX化」「いじめ防止」「地域との連携」「小中連携」

◆文章記述より

○継続したいよさ（教職員・保護者・地域記述）

次のよさを保護者や地域の方々と共有したいと考えます。

- 自己理解と挑戦する心
- 友達同士を理解した集団生活
- 明るく元気に進んで挨拶
- 時間を意識した行動
- 児童の見守りや支援についての様々な関係機関との情報共有
- 挑戦させる指導
- 農業体験の機会設定

△課題（保護者記述）

校内各担当による3学期や次年度へ向けての話し合いの際に、教職員による振り返りと同様に検討材料とさせていただきます。

- 学年閉鎖中の過ごし方の目安
- バザーの売り上げ金の活用方法
- 家庭学習の内容